

第7回  
嬉野地区新高校  
設置準備委員会  
(資料)

平成28年7月27日  
佐賀県教育委員会

# 目次

頁

資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第6回新高校設置準備委員会報告まとめ	1
資料 2	教育課程について	4
資料 3	校時について	12
資料 4	校務分掌について	14
資料 5	部活動について	17
資料 6	校名募集の状況について	22
資料 7	新高校設置準備委員会設置要領	29
資料 8	嬉野地区新高校設置に向けた検討体制	31
資料 9	嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成	32

## 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第 1 次）

## 第 6 回新高校設置準備委員会報告まとめ

## 1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成 28 年 5 月 16 日（月） 15 時～16 時 30 分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 10 人 県教育委員会関係委員 8 人
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成 28 年 5 月 18 日（水） 10 時～11 時 15 分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 11 人 県教育委員会関係委員 8 人
伊万里地区（第 5 回） ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成 28 年 5 月 20 日（金） 10 時～11 時 30 分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4 人 地域関係委員 7 人 県教育委員会関係委員 8 人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成 28 年 5 月 30 日（月） 10 時 30 分～12 時 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4 人 地域関係委員 10 人 県教育委員会関係委員 8 人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成 28 年 5 月 31 日（火） 15 時 00 分～16 時 10 分 巖木高校 同窓会館	学校関係委員 3 人 地域関係委員 5 人 県教育委員会関係委員 9 人

伊万里地区については第 5 回設置準備委員会。

## 2 主な意見等

地区	主な意見等
鹿島地区	<p>生徒配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちや OB にとっては、鹿島高校と鹿島実業高校は昔から姉妹校という意識があり、一つ屋根の下で学ぶということでの一体感に拘る必要はないのではないか。</li> <li>・ 校名・校歌等を統一することで、学校の一体感の醸成は十分可能ではないか。</li> <li>・ 平成 30 年度からの急激な体制の変化に対する職員の不安も大きいため、再編当初は現状の生徒配置とし、生徒・職員ともに少しずつ一体感を高めながら、平成 32 年度以降の生徒配置については少し時間をかけて検討を行っていきたい。</li> </ul> <p>（事務局案＜普通科を鹿島校舎、専門学科を鹿島実業校舎に配置＞のとおり承認）</p> <p>教育課程・校時について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位数（授業時間数）や校時が両校舎で揃っていなければ、部活動の開始時間がずれるので、その点についても、今後の検討課題として欲しい。</li> </ul>

地区	主な意見等
	<p>校名・校歌・制服等の検討方法について</p> <p>校名検討方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人の意見だけではなく、子どもたちの意見も反映される場面もあっていいのではないか。</li> <li>・ 設置準備委員会の委員の意見を取り入れるなら、一旦公募をして、その中から選ぶという方法が良い。</li> </ul> <p>(校名検討方法は「公募」とすることで委員了承)</p> <p>(「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認)</p> <p>校歌・校章・制服等の検討について</p> <p>(校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承)</p>
杵島地区	<p>校名・校歌・制服等の検討方法について</p> <p>校名検討方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 透明性や公平性、アピール性、全国的な流れ等を考えて、公募でよいと思う。</li> <li>・ 新高校ができるという認知が得られ、地域全体の方が一緒に新高校のことを考えるという意味では、公募の方がよい。</li> </ul> <p>(校名検討方法は「公募」とすることで委員了承)</p> <p>(「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認)</p> <p>校歌・校章・制服等の検討について</p> <p>(校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承)</p>
伊万里地区	<p>新高校の学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学科の検討については、お互いの学校同士で綱引きをするのではなく、PTA、同窓会、先生方で、どの学科やコースがいいのかを議論させて頂きたい。その際は、農業と商業の融合学科も検討しなければならないと思う。</li> <li>・ 5学級規模の教員数で6学級の運営をすることはかなり難しいだろう。</li> </ul> <p>新高校の校地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開校まで残りあと3年で、校舎、実習地等を整備するのは時間的に厳しい。今の施設を使いながら、平成31年は校舎制で開校としないと、準備が伴わない。</li> <li>・ 普通教科の担当教員の移動については、移動をしなくて済むようにカリキュラムを調整すればよい。</li> </ul>

地区	主な意見等
嬉野地区	<p>平成30年度（開校時）の学級、学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開校時から新しい形でのスタートであるという方が子供たちにも分かりやすい。</li> </ul> <p>（塩田校舎...機械科、電気科、建築科 各40人 計120人3学級 嬉野校舎...3系列（情報ビジネス系列、観光・流通系列、社会福祉系列） 計80人2学級で委員了承）</p> <p>新高校の校名の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな所から公募した方が中立性があると思う。多くの人が関心を持つ意味でもいいのではと思う。</li> <li>・ 校名を募集する時には、名前を挙げた理由というのを付けるようにした方が良い。</li> </ul> <p>（校名検討方法は「公募」とすることで委員了承） （「校名検討における基本的な考え方」及び「校内検討委員会構成委員」については事務局案のとおり承認）</p> <p>新高校の新校章、新校歌、新制服の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制服に関連して、保護者からは県立高校も入学時にまとまったお金がかかるという話をよく聞く。現状よりもあまり高くないような金額にしてほしい。</li> </ul> <p>（校内検討委員会を中心に検討をするという事で委員了承）</p>
唐津地区	<p>教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中途の進路変更を考慮して、1年次に必修科目を履修させたいので、数学と英語については、基礎科目を履修した後、必修科目である数学、コミュニケーション英語を履修できるようにしたい。</li> </ul> <p>校名・校歌・制服等の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校名を変える必要はない。伝統は守っていくべきである。</li> <li>・ 校章については、デザインはもう少しと思うが、変える必要はない。</li> <li>・ 制服については、先生方の指導のしやすい方向で何かあれば検討しても良いが、特に保護者の方からの意見はない。</li> </ul> <p>（校名、校歌、校章については、現行通りとすることで委員了承）</p>

## 資料2 教育課程について

### 【新高校の教育課程編成に係る課題等】

1 学年 4 学級（平成 31 年度または平成 32 年度）の場合

#### 塩田校舎

##### 【工業科】(2 学級)

機械科 1 学級

電気科 } 1 学級  
建築科 }

##### < 教育課程編成上の課題 >

- ・ 電気科、建築科で共通する科目の設定についての検討。
- ・ 工業科の全科共通科目の設定についての検討。

#### 嬉野校舎

##### 【総合学科】(2 学級)

情報ビジネス系列

観光・流通系列

社会福祉系列

##### < 教育課程編成上の課題 >

- ・ 介護福祉士養成課程としての必要科目の単位数を満たす必要あり。
- ・ 情報ビジネス系列と観光・流通系列を効率よく運用していくための商業科目の展開数の整理。
- ・ 総合学科としての選択科目数の確保。

##### < 教育課程編成上の課題（両校舎共通） >

- ・ 学科が違うため、両校舎で同一科目を設定しても単位数を合わせることが難しい。
- ・ 共通教科（国語、数学など）の担当者の配置。  
各校舎でそれぞれの教科担当者が 1 人ずつとなり、教科によっては両校舎の移動が必要（例えば体育、家庭、芸術）。
- ・ 共通する科目の設定（学校設定科目）を行うか否か。



##### 〔今後への展望〕

- ・ 教育課程の編成について、基本的には現在のものを踏襲しつつ、教育内容を維持、発展させることを前提とする。
- ・ 両校舎共通での履修科目を設定するか否かを検討する。

参考資料

1 塩田工業高校と嬉野高校の現在（平成 28 年度）の教育課程表

【塩田工業高校】

機械科

全日制課程 工業科（機械）

佐賀県立塩田工業高等学校

各教科に共通する教科・科目			入学年度		平成 28 年度入学生						
			学年	標準単位	1年	2年		3年		計	
						専門	進学	専門	進学	専門	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4	
		国語表現	3				(2)		0・2		
		現代文A	2				3	3	3	3	
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2		
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2	
		地理A	2	2					2	2	
		※現代史	2~4				(2)		0・2		
	公民	現代社会	2				3	3	3	3	
		政治・経済	2		(2)				0・2		
	数学	数学Ⅰ	3	4					4	4	
		数学Ⅱ	4		2	2	2	2	4	4	
		数学A	2		(2)	2			0・2	2	
		数学B	2				(2)	3	0・2	3	
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2	
		物理基礎	2		3	3			3	3	
		物理	4					3		3	
		化学基礎	2			2				2	
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2		
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7	
		保健	2	1	1	1			2	2	
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	2		
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	4		
	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	2	4		
	英語会話	2					2		2		
家庭	家庭基礎	2	2					2	2		
情報	情報の科学	2									
			情報技術基礎（2単位）で代替								
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・15 17・19	21	46・48・50 52・54・56・58	60		
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3	
		課題研究	2~6				3	3	3	3	
		実習	2~18		4	4	3	3	7	7	
		製図	2~10	3	2	2	2		7	5	
		情報技術基礎	2~6	2					2	2	
		機械工作	2~8		(2)		(2)		0・2・4		
		機械設計	2~8	2	3	3	2	2	7	7	
		原動機	2~6		(2)		(2)		0・2・4		
	自動車工学	2~10				(2)		0・2			
	電気基礎	2~8		(2)				0・2			
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2		
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2		
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2		
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2		
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2		
校外学習活動	就業体験	1~6									
	知識及び技能審査	1~20									
	ボランティア活動	1~20									
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	10・12 14・16	8	29・31・33 35・37・39・41	27		
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替								
履修単位の計			29	29	29	29	29	87			
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1				
	生徒会活動		別途計画								
	学校行事										
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目								

電気科

全日制課程 工業科（電気）

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		入学年度 学年 標準単位	平成28年度入学生							
			1年	2年		3年		計		
				専門	進学	専門	進学	専門	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4
		国語表現	3				(2)		0・2	
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4			(2)			0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学Ⅰ	3	4					4	4
		数学Ⅱ	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術Ⅰ	2	2					2	2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	2	2	2			4	4	
	英語表現Ⅰ	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2								
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電気機器	2~6		(2)				0・2	
		電力技術	2~8				(2)・(4)		0・2・4	
		電子技術	2~8		(2)				0・2	
		電子計測制御	2~6				(2)		0・2	
	通信技術	2~8		(2)				0・2		
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査	1~20								
	ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事		別途計画							
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							



建築科

全日制課程 工業科（建築）

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		標準単位	平成28年度入学生								
			1年		2年		3年		計		
			専攻	進学	専攻	進学	専攻	進学	専攻	進学	
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2			4	4	
		国語表現	3					(2)		0・2	
		現代文A	2					3	3	3	3
		漢字の世界	2~4			(2)				0・2	
	地理歴史	世界史A	2			2	2			2	2
		地理A	2	2						2	2
		現代史	2~4					(2)		0・2	
	公民	現代社会	2					3	3	3	3
		政治・経済	2			(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4						4	4
		数学II	4			2	2	2	2	4	4
		数学A	2			(2)	2			0・2	2
		数学B	2					(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2						2	2
		物理基礎	2			3	3			3	3
		物理	4						3		3
		化学基礎	2				2				2
		身近な化学物質とその性質	2~4			(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3		7	7
		保健	2	1	1	1				2	2
芸術	美術I	2	2						2	2	
外国語	コミュニケーション英語I	3	2	2	2				4	4	
	英語表現I	2			2	2	2		2	4	
	英語会話	2					2			2	
家庭	家庭基礎	2	2						2	2	
情報	情報の科学	2								2	
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	13・16 17	21	48・50・52 54・56・58	60		
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3	
		課題研究	2~6				3	3	3	3	
		実習	2~18		4	4	3	3	7	7	
		製図	2~10	2	3	3	4		9	5	
		情報技術基礎	2~6	2					2	2	
		建築構造	2~8	3	(2)				3・5	3	
		建築計画	2~10				2	2	2	2	
		建築構造設計	2~9		(2)		(2)		0・2・4		
	建築施工	2~7		2	2	(2)		2・4	2		
	建築法規	2~5		(2)		(2)		0・2・4			
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2		
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2		
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2		
美術	絵画	2~6				(2)		0・2			
	情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2			
校外学習活動	就業体験	1~6									
	知識及び技能審査	1~20									
	ボランティア活動	1~20									
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	12・14 16	8	29・31・33 35・37・39	27		
総合的な学習の時間			課題研究（3単位）で代替								
履修単位の計			29	29	29	29	87				
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1				
	生徒会活動		別途計画								
	学校行事										
備考			()は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目								

情報技術科

全日制課程 工業科 (情報技術)

佐賀県立塩田工業高等学校

教科・科目		標準単位	平成28年度入学生							
			1年		2年		3年		計	
			専攻	進学	専攻	進学	専攻	進学	専攻	進学
各教科に共通する教科・科目	国語	国語総合	4	2	2	2		4	4	
		国語表現	3				(2)	0・2		
		現代文A	2				3	3	3	3
		※漢字の世界	2~4		(2)				0・2	
	地理歴史	世界史A	2		2	2			2	2
		地理A	2	2					2	2
		※現代史	2~4				(2)		0・2	
	公民	現代社会	2				3	3	3	3
		政治・経済	2		(2)				0・2	
	数学	数学I	3	4					4	4
		数学II	4		2	2	4	2	6	4
		数学A	2		(2)	2			0・2	2
		数学B	2				(2)	3	0・2	3
	理科	科学と人間生活	2	2					2	2
		物理基礎	2		3	3			3	3
		物理	4					3		3
		化学基礎	2			2				2
		※身近な化学物質とその性質	2~4		(2)				0・2	
	体育	体育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保健	2	1	1	1			2	2
芸術	美術I	2	2					2	2	
	コミュニケーション英語I	3	2	2	2			4	4	
外国語	英語表現I	2			2	2	2	2	4	
	英語会話	2					2		2	
家庭	家庭基礎	2	2					2	2	
情報	情報の科学	2	情報技術基礎 (2単位) で代替							
各学科に共通する教科・科目小計			19	14・16 18・20	20	15・17 19・21	21	48・50・52 54・56・58・60	60	
主として専門学科において開設される教科・科目	工業	工業技術基礎	2~6	3					3	3
		課題研究	2~6				3	3	3	3
		実習	2~18		3	3	3	3	6	6
		製図	2~10				2	2	2	2
		情報技術基礎	2~6	3					3	3
		電気基礎	2~8	4	3	3			7	7
		電子技術	2~8		(2)				0・2	
		通信技術	2~8		(2)				0・2	
		プログラミング技術	2~8		(2)		(2)		0・2・4	
		コンピュータシステム技術	2~8				(2)		0・2	
	※アプリケーション技術実習	2~8		3	3			3	3	
	※コンピュータ応用実習	2~8				(2)		0・2		
	家庭	子どもの発達と保育	2~6		(2)				0・2	
		生活と福祉	2~4				(2)		0・2	
		フードデザイン	2~6				(2)		0・2	
	美術	絵画	2~6				(2)		0・2	
		情報メディアデザイン	2~6		(2)				0・2	
校外学習活動	就業体験	1~6								
	知識及び技能審査 ボランティア活動	1~20								
主として専門学科において開設される教科・科目小計			10	9・11 13・15	9	8・10 12・14	8	27・29・31 33・35・37・39	27	
総合的な学習の時間			課題研究 (3単位) で代替							
履修単位の計			29	29		29		87		
特別活動	ホームルーム活動(週あたりの時間数)		1	1	1	1	1			
	生徒会活動		別途計画							
	学校行事									
備考			( )は選択科目の単位数を示している。 ※は学校設定科目							

## 【嬉野高校】

## 総合学科

## 平成28年度入学生用 教育課程表 1

佐賀県立嬉野高等学校

(課程) 全日制課程 (学科) 総合学科

	教科	科目	標準単位数	(第1、2、3年次生)			合計
				1年次履修単位数	2年次履修単位数	3年次履修単位数	
必修科目	国語	国語総合	4	3	2		5
	地理歴史	世界史A	2	2			2
		日本史A	2			△2	0・2
		地理A	2			△2	0・2
	公民	現代社会	2		2		2
		政治・経済	2			△2	0・2
	数学	数学I	3	3			3
		数学A	2	2			2
	理科	科学と人間生活	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	7
		保健	2	1	1		2
	芸術	美術I	2	△2			0・2
		書道I	2	△2			0・2
外国語	コミュニケーション英語I	3	3			3	
	英語表現I	2	2			2	
家庭	家庭基礎	2	2			2	
情報	社会と情報	2	2			2	
合計				26	9	5	40
原則履修	総合	産業社会と人間	2~4	2			2
必修科目合計				28	9	5	42
選択科目合計				2・4	20・26	23・28	45・58
総計				30・32	29・35	28・33	87・100
校外学習活動	知識及び技能審査	1~20					
総合的な学習の時間			3~6	0	1	2	3
履修単位数総計				30・32	30・36	30・35	90・103
特別活動	ホームルーム活動	適当		1	1	1	3

△ 地歴の2科目選択については、1年次「世界史A」の必修と教育課程表1の3年次の「日本史A」・「地理A」・「政治・経済」の選択履修とする。

ただし、「政治・経済」を選択できるのは、「日本史B」か「地理B」の選択者にかぎる。

△ 「美術I」・「書道I」から1科目選択。

※ 第1年次の数学は、集中履修となり、数学I、数学Aの順に履修をする。

※ 第2年次の数学は、人文科学系は総合選択科目の数学IIと校内必修科目の数学Bの集中履修となり、数学II、数学Bの順に履修をする。

※ 第2年次の理科は、人文科学系は必修履修科目の生物基礎と総合選択科目の生物の集中履修となり、生物基礎、生物の順に履修をする。

平成28年度入学生用 教育課程表 2

佐賀県立嬉野高等学校

選択科目一覧表

系 列	総合選択科目											自由選択科目									
	基礎科目					基礎以外の科目						自由選択科目									
	教科	科目	選択学年				備考	教科	科目	選択学年				備考	教科	科目	選択学年				備考
1年			2年	3年	合計	1年				2年	3年	合計	1年				2年	3年	合計		
情報ビジネス系列	国語	国語表現	3	2	2	4		商業	電子商取引	2~4		2	2		国語	古典基礎	2	2		2	学校
	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校	商業	マーケティング	2~4		2	2		公民	政治・経済	2		2	2	
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4		商業	商品開発	2~4		2	2		外国語	中国語入門	2~4	2		2	学校
	商業	簿記	2~5	6		6		商業	簿記	2~5		4	4		商業	ビジネス基礎	2~4	2		2	
	商業	情報処理	2~4	4	3	7		商業	財務会計Ⅰ	2~4		4	4		商業	コンピュータリテラシー	2~4		2	2	学校
	商業	ビジネス情報	2~4	4	4	8		商業	原価計算	2~4		4	4		福祉	社会福祉基礎	2~6	2		2	
								商業	ビジネス計算	2~4		2	2	学校	福祉	福祉一般	2~4		2	2	学校
観光・流通系列	国語	国語表現	3	2	2	4															
	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校														
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4															
	商業	商品開発	2~4		2	2															
	商業	広告と販売促進	2~4		2	2															
	商業	簿記	2~5	4		4															
	商業	情報処理	2~4	4	3	7															
	商業	ビジネス情報	2~4		4	4															
	商業	観光一般	2~4	3		3	学校														
	商業	観光ビジネスマチエ	2~6		4	4	学校														
商業	観光地理	2~6	3		3	学校															
人文科学系列	国語	現代文B	4	2	2	4		地理歴史	日本史B	4	4	3	7								
	国語	古典B	4	2	4	6		地理歴史	地理B	4	4	3	7								
	数学	数学Ⅱ	4	3		3															
	数学	数学B	2	2		2															
	数学	総合数学	2~6		5	5	学校														
	理科	生物	4	1	3	4															
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4	4	2	6															
外国語	英語表現Ⅱ	4	2	4	6																
文化教育系列	国語	国語表現	3	2	2	4		国語	実践国語	2~4	2	2	2~4	学校							
	数学	総合数学	2~6	2	2	4	学校	芸術	美術Ⅱ	2		2	2								
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2	2	4		芸術	書道Ⅱ	2		2	2								
	家庭	子どもの発達と保育	2~6	3	3			英語	英語理解	2~4	2		2								
	家庭	ファッション造形基礎	2~6	4	4	8		英語	時事英語	2~6		2	2								
	家庭	フードデザイン	2~6	4	4	8															
	外国語	中国語Ⅰ	2	2		2	学校														
	外国語	中国語Ⅱ	2		2	2	学校														
英語	時事英語	2~6	2		2																
社会福祉系列	国語	国語表現	3	2	2	4															
	数学	総合数学	2~6	2		2	学校														
	福祉	社会福祉基礎	2~6	2		4															
	福祉	介護福祉基礎	2~6	2	3	5															
	福祉	コミュニケーション技術	2~4	2		2															
	福祉	生活支援技術	2~12	4	6	10															
	福祉	介護過程	2~6	2	2	4															
	福祉	介護総合演習	2~6	1	2	3															
	福祉	介護実習	2~16	2	6	5	13														
	福祉	こころとからだの理解	2~12	3	6	9															
英語	英語理解	2~6	2		2																

※ 「介護実習」  
 ・1年次2単位 2年次6単位 3年次5単位 合計13単位の校外実習がある。  
 ※ 社会福祉系列に進むものは、1年次の総合選択科目の社会福祉基礎を選択しなければならない。

## 2 教職員配置（副校長（教頭）、養護教諭）について

高校標準法に基づく副校長（教頭）・養護教諭の配置数の見込

（単位：人）

項目		年度	H30 年度 （開校時）	H31 年度	H32 年度以降
		職員	副校長（教頭）		2
養護教諭			2	2	1
生徒の 所属校	1 年生	新高校	新高校	新高校	新高校
	2 年生	旧高校			
	3 年生		旧高校		

高校標準法...「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」

### < 課題 >

副校長（教頭）及び養護教諭については、校務運営面や学校の安全・衛生管理面から両校舎それぞれに配置が必要であると考えられる。

上表のとおり、高校標準法に準じれば、H31 年度以降は副校長（教頭）1 人、H32 年度以降は養護教諭 1 人の配置となる。

この場合、教頭（副校長）及び養護教諭を両校舎ともに配置するためには、教諭等の数を減じる形で充当するしかない。（教諭等...指導教諭、教諭、助教諭、講師）

生徒収容定員減に伴う教職員定数減の状況の中、現在の両校の教育内容をできるだけ維持又は発展させていくには、教諭等の数の確保が必要である。

資料3 校時について

1 現在の検討状況

〔方針〕

校時については両校舎共通。

両校舎とも週31時間設定（週5日間のうち、6限×4日＋7限×1日）。

6限設定の日（週4日）は50分授業、7限設定の日（週1日）は45分または50分授業（現在検討中）。

両校生徒の主な通学手段（H28.5.1現在 全校生徒に占める割合）は、

【嬉野高校】バス28.4%、自転車30.5%、徒歩11.4%

【塩田工業高校】自転車85.5%、列車と自転車8.7%

であり、特に始業時間の設定は公共交通機関（バス、列車）に配慮する必要がある。

2 新高校の校時表（案） 50分6限の場合

○ 50分授業

行事	時間帯	分
H R	8:30－8:40	10
1限目	8:45－9:35	50
2限目	9:45－10:35	50
3限目	10:45－11:35	50
4限目	11:45－12:35	50
昼休み	12:35－13:20	45
5限目	13:20－14:10	50
6限目	14:20－15:10	50
掃除	15:10－15:25	15
H R	15:25－15:35	10

参考資料

1 現在（平成28年度）の両校の校時表

	塩田工業高校	嬉野高校	
	50分6限	50分6限	45分7限
朝の時間 読書 小テスト	(読書・小テスト) 8:35～8:45	(朝の時間) 8:40～8:50	(朝の時間) 8:40～8:50
H R	8:45～8:55	8:50～9:00	8:50～9:00
1限目	9:00～9:50	9:05～9:55	9:05～9:50
2限目	10:00～10:50	10:05～10:55	10:00～10:45
3限目	11:00～11:50	11:05～11:55	10:55～11:40
4限目	12:00～12:50	12:05～12:55	11:50～12:35
昼休み	12:50～13:35	12:55～13:40	12:35～13:20
5限目	13:35～14:25	13:40～14:30	13:20～14:05
6限目	14:35～15:25	14:40～15:30	14:15～15:00
7限目	-	-	15:10～15:55
掃除	15:25～15:40	15:30～15:45	15:55～16:10
H R	15:40～15:50	15:45～	16:10～

2 公共交通機関時刻表（登校時）

【塩田校舎関係】

J R

(上り)

多良駅	肥前鹿島駅
6:27	6:43
7:26	7:46

(下り)

肥前山口駅	肥前鹿島駅
6:46	6:56
7:22	7:32
7:26	7:42

肥前鹿島駅から塩田校舎まで  
は約5.5km（自転車で約25分）

【嬉野校舎関係】

J Rバス

登校

武雄方面

平日

武雄温泉駅	嬉野高校
7:16	7:39
7:32	7:55
7:50	8:13
8:06	8:29

祐徳バス

鹿島方面

平日

鹿島バスセンター	嬉野高校前
7:25	7:52
7:57	8:23

山内方面

平日

三間坂	嬉野高校前
→	7:15
→	8:25

鹿島方面（吉田経由）

平日

鹿島バスセンター	築城
6:52	7:21
7:42	8:11

資料4 校務分掌について

嬉野地区新高校 校務分掌(案)

【現在の検討状況】

校務分掌名	項目	細目	校務分掌名	項目	細目
教務部	校内教務全般	企画・運営・渉外 学校行事 入試業務 指導要録 教育課程 教科書・副教材・一括納付金 学校要覧 成績処理 時間割・考査割・チャイム設定 校務日誌 日報 年間指導計画作成・シラバス作成 式・集会・表彰 ホームルーム活動 生徒在籍異動出席等統計 選択科目調査等 入学のしおり・合格者心得作成 課題テスト、小テスト 教材教具、印刷	生徒指導部	生徒指導全般	企画・運営・渉外 諸調査・諸届 情報モラル教育 物品(制服、名札等)
				生徒指導	生活指導 交通指導
				生徒会指導	生徒会指導 部活動指導 庶務・会計 表彰
			進路指導部	進路指導全般	企画・運営・渉外 進路ガイダンス・学校説明会 進路情報・統計整理
		就職指導	就職指導 公務員希望者指導 既卒者就職相談		
		進学指導	進学指導 各種模試・特課 小論文・面接指導		
対外業務	教育実習 体験入学 奨学金 人権・同和教育 資格取得・技能審査 キャリア教育支援事業 PTA	教育実習 体験入学 奨学金 人権・同和教育 資格取得・技能審査 キャリア教育支援事業 PTA	保健指導部	学校保健全般	企画・運営・渉外 生徒保健安全指導 健康管理(健康診断・健康相談) 調査統計 食育
				学校環境管理	環境整備(環境衛生・学校美化) 防火・防災
			教育相談	スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー	
学校図書	企画・運営・渉外 図書・読書指導 蔵書管理・資料整理 芸術鑑賞会	事務部		歳入 歳出 施設 産振 物品 庶務 図書館 用務・環境整備	
研修情報部	研修・広報	学習成果発表会 産業社会と人間(1年) 修学旅行(2年) 就業体験(2年) 総合的な学習の時間・課題研究(2・3年) 宿泊研修(1年) 国際交流 さがを誇りに思う教育推進事業 主権者教育 広報(学校パンフレット等) 学校だより			
	情報管理	SEI-Net 校内LAN 学校ホームページ管理 緊急メール配信 機器利用・管理・資料整理 ICT活用教育 情報モラル教育 視聴覚			



参考資料

1 現在（平成28年度）の両校の校務分掌

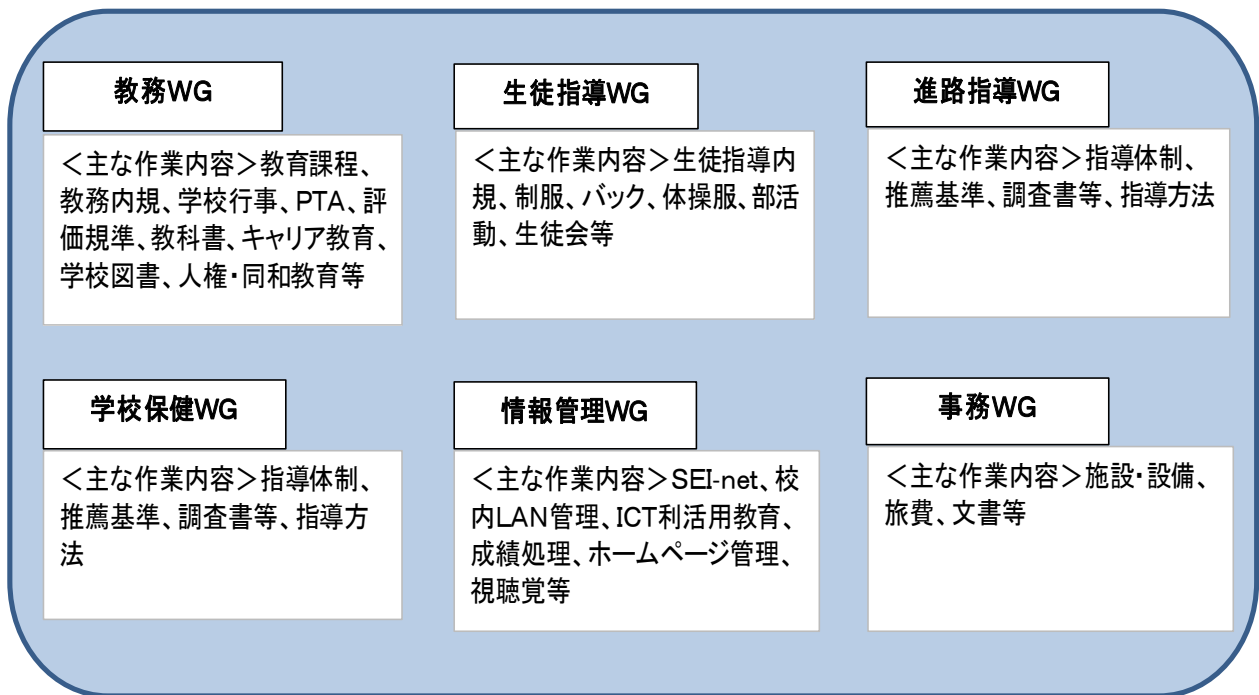
○塩田工業高校

○壙野高校

教務部	教務	学校行事計画 公文書 校務日誌 儀式・集会・表彰 時間割 出席統計(長欠調査含) 日報 教育課程 学籍・指導要録 ホームルーム活動 成績処理 選択科目調査等 追指導 シラバス作成 年間指導計画作成 SEI-net
	庶務	教科書 教材教具、印刷 合格者の手引き 学校要覧作成
	人権・同和教育 成績処理作成 学校案内作成 課題、小テスト 研修企画	
	PTA	企画・渉外 評議員会 学校行事等 専門部会
	会計 奨学金 修学旅行	
	世界とつながる佐賀県青少年交流事業 グローバル教育担当 ICT利活用教育担当 資格試験	
	生徒指導部	企画・渉外
	生徒会	企画 体育 文化 会計
進路指導部	就職・進学指導	企画 就職指導 進学指導 進路情報・統計 既卒者就職支援 各種模試
保健環境部	企画・渉外	
	健康管理(健康診断・健康相談) 調査統計 保健指導(性教育・精神衛生) 安全指導(学校安全・スポーツセンター) 環境整備(環境衛生・学校美化)	
	防火・防災 教育相談 食育	
	図書	蔵書 図書指導
	視聴覚 広報	放送視聴覚 塩工だより
図書広報部	蔵書	
	放送視聴覚	
	塩工だより	
	歳入・産振	
	歳出	
	給与	
	施設・産振	
事務部	物品	
	庶務	
	図書館	
	用務・環境整備	
同窓会		

教務部	企画・運営・渉外	学校行事・教育課程 選抜事務 学校要覧 式典 生徒在籍異動出席等・教育実習 指導要録 成績処理 科目選択 時間割・考査割 チャイム設定 教科書・副教材・一括徴収金 技能審査 奨学金 産業社会と人間(1年) 人権・同和教育 「シラバス」作成 「学校と家庭」作成 諸調査 教材教具
	図書	学校便り「躍動」発行 読書指導 整理保管 図書委員会 資料整理 芸術鑑賞会
	情報管理	SEI-net 情報科推進事業(ICT) WEB管理・緊急メール配信 校内LAN 機器利用・管理・資料整理
総務部	広報全般	学校パンフレット 学校便り「躍動」発行 宿泊研修(1年) 修学旅行(2年) 総合的な学習の時間(2、3年) キャリア教育支援事業 体験入学 総合学科発表会 国際交流(留学) 主権者教育 PTA
生徒指導部 【生徒指導】	企画・運営・渉外	
	生徒指導	生活全般・校内指導 アルバイト 諸調査
	交通指導	自転車通学 自動車学校
	制服・名札販売	
	【生徒会】	企画・運営・渉外
進路指導部	庶務	文書 会計
	指導	中央委員会 各種委員会 部活動指導 表彰関係
	進学・就職指導	企画・運営・渉外 模試・特課 諸調査・データ処理・資料作成 資料整理 公務員指導 小論文・作文・面接指導計画 既卒者就職指導 進路事務全般 基礎学力向上(マナトレ) 人権・同和教育関係 広報(躍動・進路だより) 進路ガイダンス・学校説明会
保健部	生徒保健指導	
	防災・安全教育 環境美化 食育 教育相談(スクールカウンセラー)	
事務部	庶務	
	歳出	
	歳入	
	環境整備	
	図書室	
同窓会		

## 2 新高校検討のための校内ワーキンググループ（WG）



WGは両校合同。

両校の職員がいずれかのWGに所属し、新高校の教育内容等を検討。

新高校の校務分掌（案）はこのWGに準じて設定。

資料5 部活動について

1 現在の検討状況

〔方針〕

基本は既存の部を残す形とする。

現在（平成28年度）との比較は以下のとおりである。

吹奏楽部、書道部、情報技術研究部...廃止 茶華道部 茶道部

下表は新高校完成時（平成32年度以降）のものであり、旧高校との混在期（平成30年度、平成31年度）については今後検討していく。

2 新高校の部活動（案）

	塩田校舎	嬉野校舎
体育系	野球(男) サッカー(男) バスケットボール(男) バドミントン(男) バレーボール(男) ソフトテニス(男) 柔道(男女) 剣道(男女)	陸上競技(男女) ソフトボール(女) バスケットボール(女) バドミントン(女) バレーボール(女) ソフトテニス(女) 卓球(男女)
文化系	美術(男女) 新聞(男女) 機械研究(男女)* 電気研究(男女)* 建築研究(男女)* ボランティア(男女)	和太鼓(男女) ソングリーディング(女) JRC(男女) 商業技術(男女) 情報処理(男女) 茶道(男女)

\* 機械研究、電気研究、建築研究については1つにまとめていくことも検討。

1 現在（平成28年度）の両校の部活動と活動人数

（単位：人）

部活動名		塩田工業高校		嬉野高校		合計		
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	総計
体育系	野球	50		10	4	60	4	64
	バレーボール	16			15	16	15	31
	バスケットボール	32		12	18	44	18	62
	陸上	11		5	3	16	3	19
	柔道	9	1			9		9
	剣道	3		4	2	7	2	9
	卓球	11		6	8	17	8	25
	サッカー	52				52		52
	ソフトテニス	24	1		9	24	10	34
	バドミントン	21		14	21	35	21	56
	ソフトボール				21		21	21
	体育系計		229	2	51	101	280	102
文化系	機械研究	12				12		12
	情報技術研究	14				14		14
	電気研究	3				3		3
	建築研究		1			0	1	1
	新聞	3				3		3
	美術	4		1	7	5	7	12
	吹奏楽	3				3	0	3
	ボランティアクラブ	7				7		7
	商業技術			12	36	12	36	48
	情報処理			2	10	2	10	12
	和太鼓				14		14	14
	JRC				26	0	26	26
	ソングリーディング				26		26	26
	書道				7		7	7
	茶華道				17		17	17
文化系計		46	1	15	143	61	144	205
総計		275	3	66	244	341	246	587
在籍者数(H28.5.1現在)		339	6	83	258	422	264	686

※嬉野高校の部活動所属者は延べ人数。

※データは平成28年5月1日現在。

※網掛けは設置無し。

## 2 大会参加について

### 複数校合同チームによる大会参加について

#### 【全国高等学校総合体育大会】

「複数校合同チームによる大会への参加についての考え方」(全国高等学校体育連盟事務局)

- 1 部員不足に伴う複数校合同チームの大会参加について
  - (1) 全国高等学校総合体育大会は学校対抗制を原則としている。したがって、各学校を単位として大会に参加することが要件となるため、部員不足に伴う合同チームの参加は認めない。
  - (2) 各都道府県高体連及び専門部においては、各都道府県の大会等の参加に関する基準等を検討し、実施可能な専門部から合同チームが成果を発揮できる場を設けるよう努力する。その際、合同チームの編成が勝利至上主義的発想で行われることのないよう十分留意する。
- 2 学校の統廃合(設置者による学校の廃止及び廃止を伴う複数校の学校の統合で、募集停止を伴うものをいう、以下同じ)に伴う複数校合同チームの大会参加について
  - (1) 学校の統廃合は行政を含む設置者によるものであるので、当該校に在籍する生徒の活動を保障するために統廃合完了前の2年間に限り合同チームを組んで全国高等学校総合体育大会に参加することを認める。
  - (2) 統廃合の予定があっても合同チームを編成せず、単独チームで出場することもできる。これについては学校毎ではなく、部活動ごとに取り扱うものとする。
  - (3) 同一競技において、選手が単独チームと合同チームの両方から大会に出場することはできない。  
平成14年3月9日より施行  
平成19年3月3日 改正  
平成25年5月21日 一部改正「募集停止を伴うもの」追記

#### 【佐賀県高等学校総合体育大会】

「平成27年度 佐賀県高等学校総合体育大会 開催基準要項」

- 9 大会参加
  - (1) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
  
佐賀県高等学校体育連盟では、合同チームによる大会参加に係る規定の詳細を、統廃合や再編対象校ごとに、平成28年度に検討することとしている。(大会参加に係る規定の詳細とは、申告期日等の手続き等に係る内容であり、規定については、全国高体連の規定に準ずることに変わりはない)

## 【日本高等学校野球連盟】

### 日本高等学校野球連盟からの諸通達

#### 1 「統廃合による大会参加の特別措置について」(平成9年5月23日通達)

##### (1) 連合チームでの大会参加

ア 統廃合の対象となる関係校であれば、2校以上の連合チームでの大会参加を認める。(地区大会および全国大会を含む)

イ 連合チームは関係校であれば、そのうちの組合せはいずれでもよく、2チームに分かれて参加することもできる。適合のチームの組合せ上、人数による制限はしない。(例えば10人以上の場合は単独でなければならないなど)

#### 2 「廃校となる野球部の取扱い」(平成12年6月7日通達)

##### (1) 救済措置の対象となる学校

廃校となることが決定し、生徒募集が打ち切られた学校(分校も含む)で、次の条件下にある者は対象とする。

ア 在校生が2学年以下しかいない場合

イ 登録部員数のうち、試合出場が可能な選手が9人以下となる場合

##### (2) 近隣校の協力

ア 廃校となる学校は、同一市町村内または近隣の市町村にある高等学校の協力により、野球部員の派遣を受け、自校の選手として所属連盟に登録、大会に参加することができる。

イ 近隣校は、原則として合同練習に通常の交通機関を利用して通える範囲とする。など

#### 3 「部員不足による大会参加の特別措置について」(平成24年5月24日通達)

##### (1) 部員不足の連合チームでの大会参加

ア 原則として部員数が不足している(8人以下)2校以上の連合チームでの大会参加を認める。(地区大会および全国大会を含む)

イ 関係校間の距離は問わないが、同一都道府県内の加盟校同士に限定し、原則として週2回程度の合同練習ができることが望ましい。

ウ 適当な相手校が無いなどの理由で連合チームが組めない部員不足校には、単独廃校のルール(平成12.6.7通達文)を適用することも可能とする。

ただし、母体となる部員数不足校の部員は最低5人は在籍しているものとし、他校からの部員を借り入れた後の当該校の部員数は10人を超えないこととする。など

## 【全国高等学校総合文化祭】

複数校の合同チームとして参加している。

**全日本吹奏楽連盟**

**【全日本吹奏楽コンクール】**

**「全日本吹奏楽コンクール実施規定」**

第7条 各部門の参加資格は次のとおりとする。ただし、同一人が二つ以上の団体に重複して出場することは認めない。なお、年齢については問わない。  
高等学校の部  
同一高等学校に在籍している生徒とする。

**【全日本マーチングコンテスト】** 全日本吹奏楽コンクール実施規定と同一

**【全日本アンサンブルコンテスト】** 全日本吹奏楽コンクール実施規定と同一

規定では上記のようにになっているが、九州吹奏楽連盟においては、再編校について、連合チーム又は旧高校・新高校別の何れかの形での参加を認めており、佐賀県吹奏楽連盟も同様の運用となる。(全日本吹奏楽連盟は、九州・佐賀県の下位連盟の決定に従うとしている H28.3.15 聴き取り )

**全日本合唱連盟**

**【全日本合唱コンクール】**

**全日本合唱コンクール全国大会開催規定 (平成 25 年 2 月 17 日改訂版)**

**第3章 出演資格**

(各部門の出演合唱団資格)

第12条 各部門の出演合唱団の資格は次のとおりとする。

(2) 高等学校部門

同一高等学校に在籍する生徒で編成する合唱団。

複数高等学校の生徒で編成する合同合唱団で、常時活動し、当該正会員連盟の理事長及び支部長が認めた合唱団。

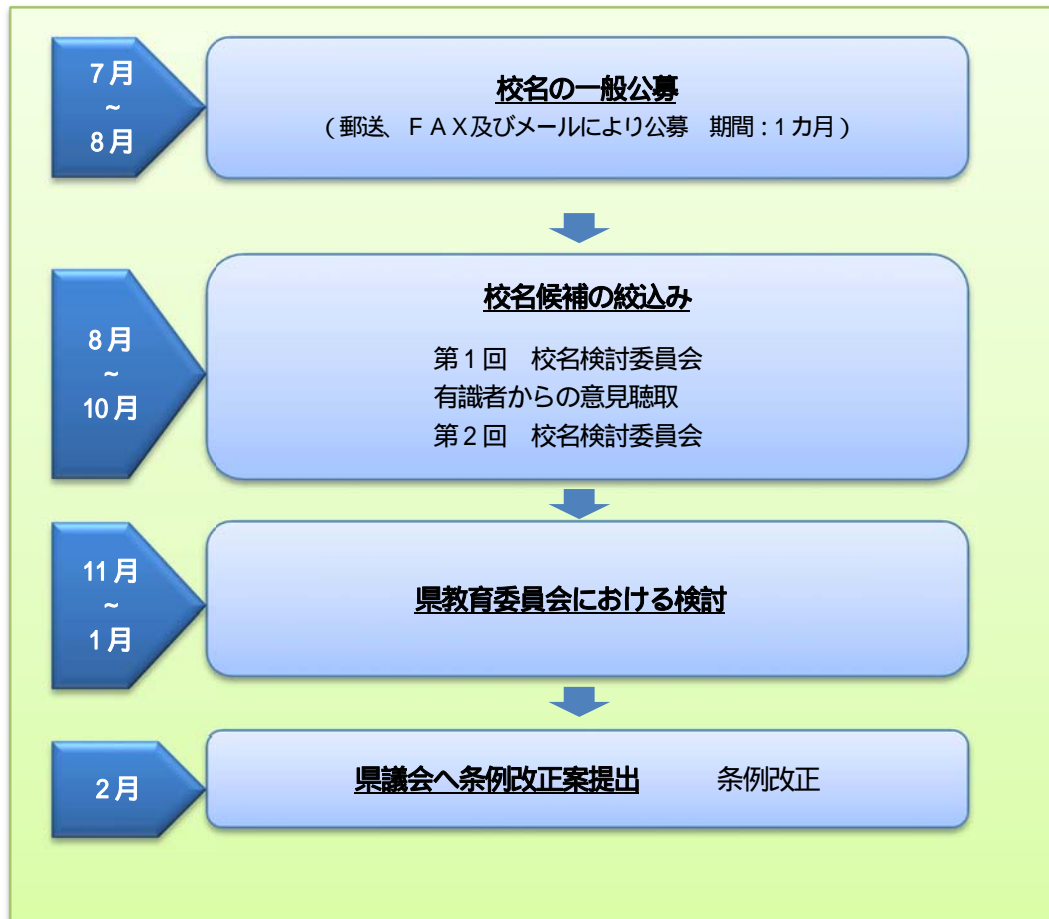
同一の中高一貫校に在籍する生徒で編成する合唱団。ただし、中高一貫校として出場する中学生は規定上高校生として扱う

同一高等学校内から複数の合唱団が出演できる。

出演団体は同一種別(混声、男声、女声)に1回に限り出演できる。

## 校名募集状況

### 1 校名検討のスケジュール





## 2 校名募集（公募）のスケジュール

### 校名公募に係るスケジュール

2016/6/9

月	7月																																					
日	6/30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日						
業務	← 教育委員会勉強会（説明）	設置準備委員会委員への連絡		校名公募プレスリリース		応募用紙配布（市町等）		公募開始	→																													
	集計作業（各校及び再編室）																																					

月	8月																														
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
業務	→															公募終了	←														
	集計作業（各校及び再編室）															第1回校名検討委員会															
																集計作業（取りまとめ） 資料作成															
	各高校体験入学																														

### 3 校名募集要項

#### 嬉野地区新高校に係る校名募集要項

佐賀県教育委員会

佐賀県立塩田工業高等学校と佐賀県立嬉野高等学校を再編統合し、平成30年4月に開校する嬉野地区新高校の校名を募集します。

#### 1 新高校の概要

##### (1) めざす学校像

一人一人の個性を伸ばし、地域と共に歩み、未来へ向かって躍動する学校  
心身ともに健全で、幅広い知識と高度な技術を有する人材を育成する学校  
国際的な視野と地域を愛する心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する学校

(2) 設置学科 工業科、総合学科

(3) 設置場所 現在の塩田工業高等学校及び嬉野高等学校校地  
(当面、校舎制として両校地を使用)

(4) 開校時期 平成30年4月

#### 2 募集内容

##### (1) 新高校の校名

##### (2) その校名とした理由

##### (3) 校名応募の留意点

以下の3点に留意した校名案としてください。

- ・ めざす学校像や、学校の歴史的あるいは地理的背景などを考慮した名称とする。
- ・ 比較的平易に読み、親しみやすい名称とする。
- ・ 県内外の学校と紛らわしくない名称とする。

応募者本人が考えたものであり、他者の著作権などの権利を一切侵害しないものに限り、公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むものは応募できません。

#### 3 募集期間

平成28年7月7日(木)から平成28年8月15日(月)まで(郵送の場合、締切当日の消印有効)

#### 4 応募資格

どなたでも応募できます。

#### 5 応募方法

以下の(1)～(3)の何れかによる応募とします。(電話による応募は受け付けません)

(1) 郵送・FAXによる応募(応募用紙を使用してください)

(2) はがき(はがきに下記必要事項～の内容を記入してください)

(3) 電子メール(メール本文に下記必要事項～の内容を記入してください。なお、件名を【嬉野地区新高校名応募】としてください)

**【必要事項】**

以下の ~ の項目についてお答えください。

新高校の校名（漢字の場合はふりがなも記入してください）

その校名とした理由

住所（都道府県・市町村）・氏名

年齢（小中高生の場合は学年も記入してください）

性別

所属等（小学生、中学生、高校生、塩田工業・嬉野生徒、塩田工業・嬉野同窓会員、  
塩田工業・嬉野職員、塩田工業・嬉野保護者、一般など）

**【応募にあたっての注意事項】**

- ・ 応募した時点でこの募集要項に同意したものとします。
- ・ この公募は校名の案を募集するものであり、応募数の多少により校名を決定するものではありません。
- ・ 一人あたりの応募数の制限は設けませんが、一人の方が同一の校名案で複数応募することはできません。
- ・ 一回の応募にあたって記入できるのは1つの校名案のみです。
- ・ 応募された校名案については、そのまま採用せずに一部を使用したり、他の案と合成したりする場合があります。
- ・ 応募にかかる費用は、応募者の負担とします。なお、ご応募いただいたはがきなどは返却しません。
- ・ ご記入いただいた個人情報は、佐賀県個人情報保護条例に基づき、適正に管理します。

**(4) 応募先**

**【郵送・はがき】** 〒 840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 教育総務課県立高校再編整備推進室  
〒 849-1411 嬉野市塩田町大字馬場下甲1418番地 塩田工業高校  
〒 843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿甲700番地 嬉野高校

**【FAX 番号】** 0952-25-7419 （佐賀県教育庁教育総務課県立高校再編整備推進室）

**【電子メール】** [kyouiku-saihen@pref.saga.lg.jp](mailto:kyouiku-saihen@pref.saga.lg.jp)（佐賀県教育庁教育総務課県立高校再編整備推進室）

**6 選定方法**

応募された校名案及び選定理由を参考として、佐賀県教育委員会において選定します。

**7 結果の公表**

決定された校名については、佐賀県教育委員会ホームページ等で公表する予定です。

**8 その他**

決定された名称に関する一切の権利は佐賀県教育委員会に帰属するものとします。

**9 問い合わせ先**

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号  
佐賀県教育庁 教育総務課 県立高校再編整備推進室  
電話：0952-25-7424 （平日9:00～17:00）  
電子メール：[kyouiku-saihen@pref.saga.lg.jp](mailto:kyouiku-saihen@pref.saga.lg.jp)

## 4 配布先・枚数

### ○ 校名公募用応募用紙配布先・枚数

配布先	地区						
	鹿島地区		杵島地区		嬉野地区		
	配布先(個別)	配布枚数 (枚)	配布先(個別)	配布枚数 (枚)	配布先(個別)	配布枚数 (枚)	
地元中学校 (志願者数に応じた枚数を配布)	西部	300	武雄	150	嬉野	180	
	塩田	150	白石	120	塩田	150	
	東部	150	大町(ひじり学園)	90	西部	120	
	嬉野	120	北方	60	武雄	120	
	白石	60	牛津	60	東部	90	
	有明	60	西部	60	山内	60	
	多良	60	山内	60	吉田	50	
	大浦	60	福富	60	川登	50	
				江北	50	大野原	20
				有明	50		
	<b>計</b>	<b>960</b>	<b>計</b>	<b>760</b>	<b>計</b>	<b>840</b>	
市町役場	鹿島市役所	200	白石町役場	200	嬉野市役所	100	
	嬉野市役所	100	大町町役場	100	(塩田庁舎)	100	
	(塩田庁舎)	100	江北町役場	100	鹿島市役所	100	
	白石町役場	100	武雄市役所	100	武雄市役所	100	
	太良町役場	100					
	<b>計</b>	<b>600</b>	<b>計</b>	<b>500</b>	<b>計</b>	<b>400</b>	
公共施設等	エイブル	200	福富公民館	100	楠風館	100	
	(生涯学習センター、市民会館、市民図書館)		大町町公民館	100	嬉野公民館	100	
			ふれあい交流センター ナイブル	100			
			有明公民館	100			
	<b>計</b>	<b>200</b>	<b>計</b>	<b>400</b>	<b>計</b>	<b>200</b>	
県立施設等	元気ひろば	100	元気ひろば	100	元気ひろば	100	
	国際交流プラザ	100	国際交流プラザ	100	国際交流プラザ	100	
	<b>計</b>	<b>200</b>	<b>計</b>	<b>200</b>	<b>計</b>	<b>200</b>	
当該校※	鹿島高校生徒	600	白石高校生徒	480	塩田工業高校生徒	360	
	鹿島実業高校生徒	360	杵島商業高校生徒	360	嬉野高校生徒	360	
	鹿島高校保護者	600	白石高校保護者	480	塩田工業高校保護者	360	
	鹿島実業高校保護者	360	杵島商業高校保護者	360	嬉野高校保護者	360	
		<b>計</b>	<b>1,920</b>	<b>計</b>	<b>1,680</b>	<b>計</b>	<b>1,440</b>
総計(当該校除)		<b>1,960</b>		<b>1,860</b>		<b>1,640</b>	
総計(当該校含)		<b>3,880</b>		<b>3,540</b>		<b>3,080</b>	

※当該校を除く応募用紙の印刷は、県立高校再編整備推進室で行う。

### ○ 校名公募に係る通知先

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各市町教育委員会教育長</li> <li>・ 各私立中学校長</li> <li>・ 佐賀大学文化教育学部附属中学校長</li> <li>・ 佐賀大学文化教育学部附属特別支援学校長</li> <li>・ 各教育事務所長</li> <li>・ 各県立学校長</li> </ul> <p style="text-align: center;">7月4日(月) 予定のプレスリリース後、SEI-netにより通知</p>
--

## 5 第1回嬉野地区新高校校名検討委員会について

### (1) 校名検討委員会委員構成(案)

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	塩田工業高等学校 校長	副島 政史	委員長・学校関係者	
2	嬉野高等学校 校長	掛園 真樹	副委員長・学校関係者	
3	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者
4	嬉野市副市長	中島 庸二		
5	武雄市教育長	浦郷 究		
6	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市	
7	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者	
8	嬉野高等学校 同窓会代表	山下 芳郎		
9	塩田工業高等学校 PTA代表	中山 信之		
10	嬉野高等学校 PTA代表	田中 秀則		
11	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者	
12	嬉野市立嬉野中学校長	太田 公治		
13	県立高校再編整備推進室長	原 和弘		
14	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	塩田工業高等学校教頭	津川 久博		
	嬉野高等学校教頭	原 美和		
	塩田工業高等学校指導教諭	見浦 浩徳		
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世		
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎		

(2) 第1回嬉野地区新高校校名検討委員会日程(案)

日時：平成28年8月29日(月)11:00~12:00 (新高校設置準備委員会後)

場所：塩田工業高校同窓会館「塩工会館」新館

議題：

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 協議
  - ・ 校名検討の進め方
  - ・ 有識者への意見聴取について(有識者人選等)
  - ・ 校名候補案選定の基本的な考え方
  - ・ 校名候補案の検討
  - ・ その他
- 5 次回の日程等
- 6 閉会

参考資料 校名検討委員会委員構成(第6回新高校設置準備委員会資料より)

No	委員構成(案)
1	関係校校長(2人)
2	関係市町教育長
3	市町関係者
4	関係校同窓会代表(2人)
5	関係校PTA代表(2人)
6	地元中学校校長
7	県教育委員会代表

県教委の各課室からの委員を除けば、現在行っている新高校設置準備委員会と校名検討委員会の委員構成はほぼ同じであるため、現在の設置準備委員会をベースに、県教委からは代表2名のみ参加(県立高校再編整備推進室長、同教育企画監)とし、校名検討委員会は新高校設置準備委員会と併せて実施することが考えられる。

【参考】新高校設置準備委員会委員構成

No	委員構成
1	関係校校長(2人)
2	関係校教頭(2人)
3	関係市町教育長(1~4人)
4	市町関係者(1~2人)
5	関係校同窓会代表(2人)
6	関係校PTA代表(2人)
7	地元中学校校長(1~2人)
8	県教委各課室(8人)

校名検討委員会の構成としては、再編対象校の校長及び職員、同窓会関係やPTA関係、また、該当市町の首長や教育長、さらには地元中学校の校長等が考えられ、これに教育庁の関係課を加え、様々な視点から協議を重ねるとともに、有識者及び地元関係者への意見聴取を行うことによって、候補を絞り込んでいく必要がある。

## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
  - 二 新高校の施設・設備に関する事
  - 三 新高校への円滑な移行に関する事
  - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要する事

## (組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

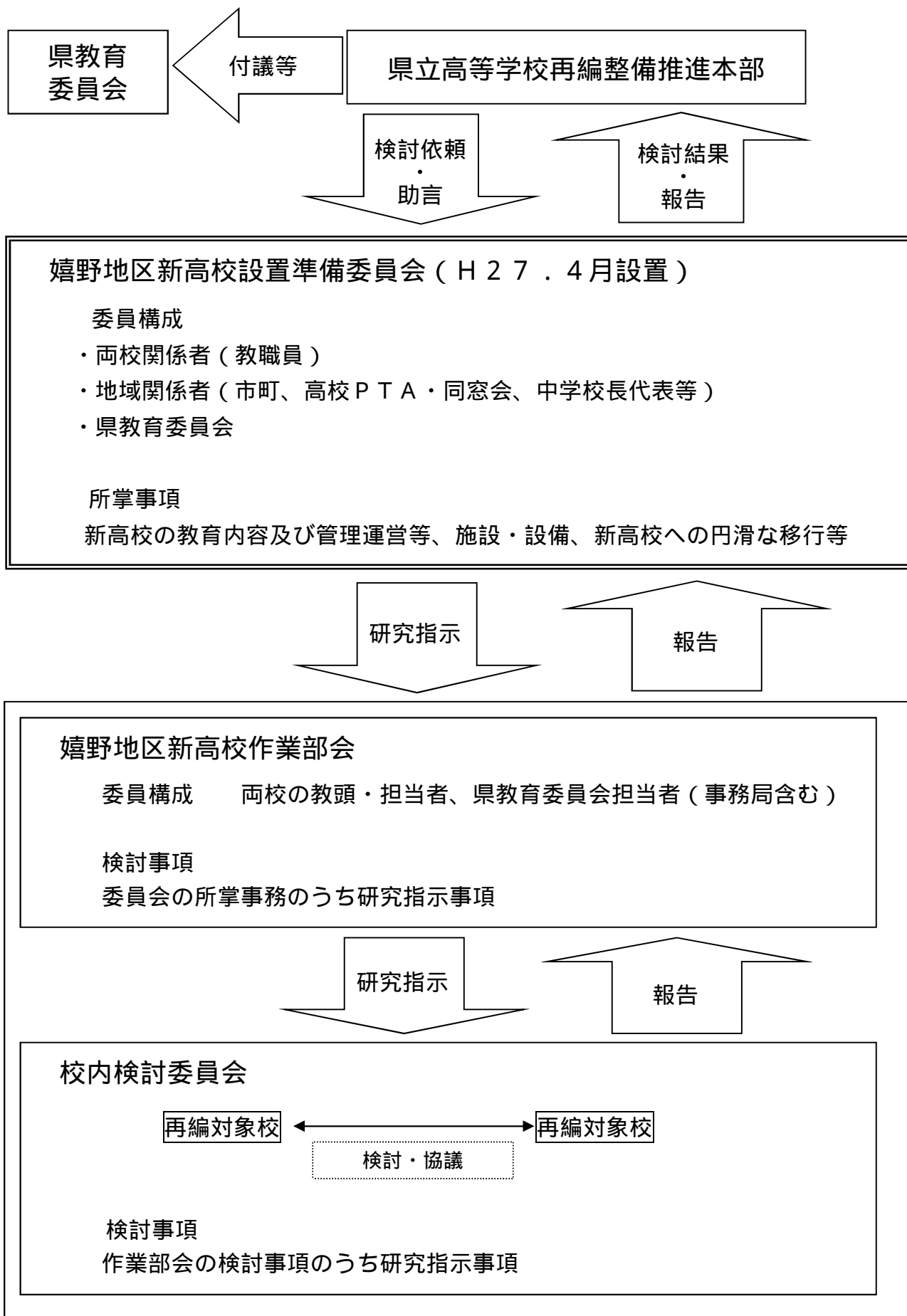
## (補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校





## 嬉野地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考			
1	塩田工業高等学校 校長	副島 政史	委員長・学校関係者			
2	嬉野高等学校 校長	掛園 真樹	副委員長・学校関係者			
3	塩田工業高等学校 教頭	津川 久博	学校関係者			
4	嬉野高等学校 教頭	原 美和				
5	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	市関係者		
6	嬉野市副市長	中島 庸二				
7	武雄市教育長	浦郷 究	武雄市			
8	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市			
9	塩田工業高等学校 同窓会代表	西村 利則	地元関係者			
10	嬉野高等学校 同窓会代表	山下 芳郎				
11	塩田工業高等学校 PTA代表	中山 信之				
12	嬉野高等学校 PTA代表	田中 秀則				
13	嬉野市立塩田中学校長	永田 由美	中学校関係者			
14	嬉野市立嬉野中学校長	太田 公治				
15	教育総務課長	源五郎丸 靖	県教委関係者			
16	教育振興課長	五反田 進				
17	教育情報課長	碓 浩一				
18	教職員課長	福地 昌平				
19	学校教育課長	松尾 敏実				
20	保健体育課長	吉松 幸宏				
21	県立高校再編整備推進室長	原 和弘				
22	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰				
事務局	塩田工業高等学校指導教諭	見浦 浩徳				
	嬉野高等学校教諭	梶原 理世				
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	山下 秀司				
	県立高校再編整備推進室 企画主査	杉本 耕一郎				